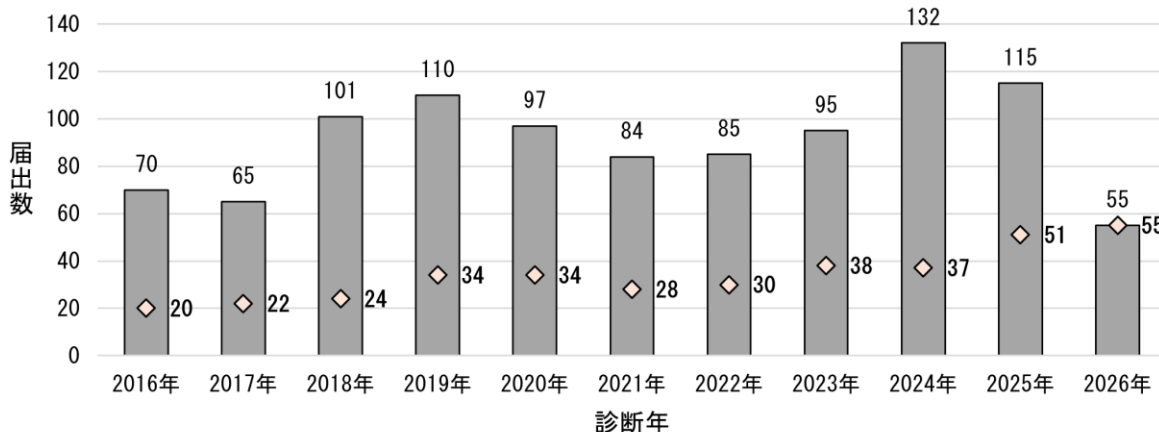


【今週の注目疾患】

《レジオネラ症》

2026年第25週に県内医療機関から4例の届出があり、第25週時点の累計は直近10年で最も多い55例となった(図)。

図:2016年から2026年第25週までの県内のレジオネラ症診断年別届出数  
(2026年第25週時点, n=1,009) □年間累計届出数 ◇第25週時点届出数



2016年から2026年第25週までに県内医療機関から届出のあった1,009例の概要は以下のとおり。

病型別は、肺炎型952例(94%)、ポンティアック熱型45例(4%)、無症状病原体保有者12例(1%)であった。性別は、男性813例(81%)、女性196例(19%)と男性が約8割を占めた。年代別は、70代が255例(25%)と最も多く、次いで60代246例(24%)、80代205例(20%)であり、60歳以上が7割以上(776例)を占めた。推定される感染原因・感染経路(重複あり)は、水系感染(エアロゾル感染を含む)268例(27%)、塵埃感染67例(7%)であった。

なお、肺炎型952例について、届出票に記載のあった症状・所見(重複あり)は、肺炎931例(98%)、発熱856例(90%)、咳嗽364例(38%)、呼吸困難338例(36%)、意識障害137例(14%)、下痢90例(9%)、多臓器不全86例(9%)、腹痛23例(2%)であった。

レジオネラ症は、土壌や水環境に広く存在するレジオネラ属菌による細菌感染症であり、主な病型として重症の肺炎を引き起こすレジオネラ肺炎と、一過性で自然に改善するポンティアック熱がある<sup>1)</sup>。

レジオネラ肺炎の潜伏期間は2日から10日で、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難、下痢などの症状を呈する。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状を伴うこともある。特に高齢者、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人もレジオネラ肺炎のリスクが高いとされている<sup>1,2)</sup>。

感染経路としては、エアロゾルを発生させる環境(循環水を利用した風呂、加湿器、噴水等の水景施設、空調設備の冷却塔等)を感染源とするエアロゾル感染、温泉浴槽水や河川の水を吸引・誤嚥したことによる感染、汚染された土壌の粉塵を吸い込んだ

ことによる塵埃感染などがある<sup>1,2)</sup>。

対策としては、風呂の配管や浴槽内に汚れやぬめり（バイオフィーム）が生じないように定期的に清掃を行うなど、取扱説明書に従って維持管理をすることが重要である。また、超音波振動などの加湿器を使用する時には、毎日水を入れ替えて容器を洗浄することが大切である<sup>1)</sup>。エアロゾルが発生する高圧洗浄や、粉塵が発生する腐葉土の取り扱い等にあたってはマスクを着用して感染を予防していただきたい<sup>2)</sup>。

■参考・引用

1)厚生労働省：レジオネラ症

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_00393.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html)

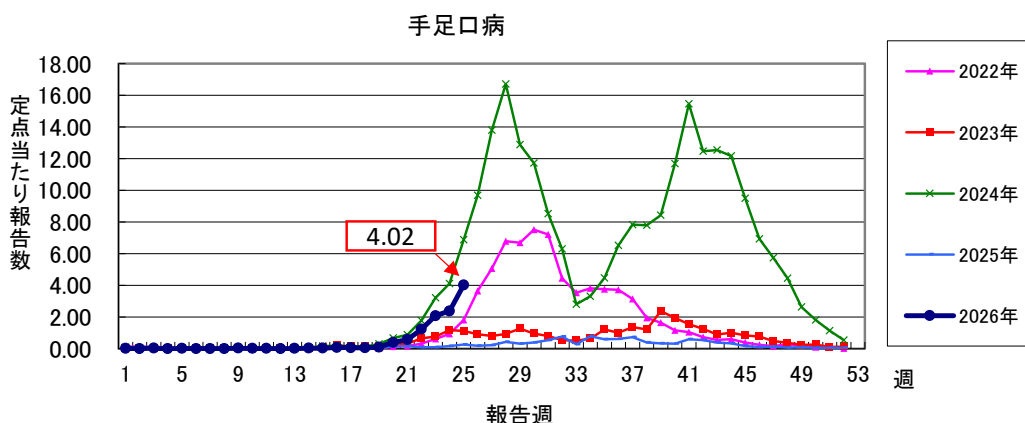
2)国立健康危機管理研究機構：レジオネラ症

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ra/legionella/index.html>

《手足口病》

2026年第25週に県内の小児科定点医療機関から報告された手足口病の定点当たり報告数は、7週連続で増加し4.02（人）となった（図）。国内では、乳幼児を中心に夏季に流行する<sup>1)</sup>ことから、引き続き発生動向に注意が必要である。

図：2022年から2026年の県内の手足口病の定点当たり報告数（2026年第25週時点）



感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られている。特異的な治療法や国内で承認されたワクチンはない。治った後も比較的長い期間、便の中にウイルスが排泄され、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあることから、日頃の感染対策が重要となる<sup>1,2)</sup>。

■参考・引用

1)国立健康危機管理研究機構：手足口病

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hand-foot-mouth-disease/index.html>

2)厚生労働省：手足口病

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>